



さいがい かつどう 災害での活動

ひろしま お さいがい
広島で起こった災害



緊急消防援助隊としての活動

●緊急消防援助隊とは？

緊急消防援助隊とは、大きな災害や事故が起きた時に、災害が起きた県などからの要請により全国の消防から消防隊員が出動し、消防や救助、救急活動にあたる部隊です。



ひろしま お さいがい 広島で起こった災害

こう う さいがい 6.29豪雨災害

へいせい ねん がつ にち ばい う ぜんせん えいきょう み めい ふ はじ あめ ご こ きゅう つよ
平成11年6月29日、梅雨前線の影響により未明から降り始めた雨が、午後になってから急に強くなり、広島県全域に大雨をもたらしました。

とく ひろしま し さ えきく あ さきたく がつ にち あめ ゆる じばん じ し
特に広島市佐伯区と安佐北区では、6月23日からの雨で緩んでいた地盤に、13時から16時にかけて1時間に40～80ミリメートルの強い雨が降り、河川の氾濫、土石流、がけ崩れなどが多数起こりました。

おおあめ ひろしま し めい かた な めい
この大雨で、広島市では20名の方が亡くなり、45名がけがをしました。



8.20豪雨災害

広島で忘れてはならないのが、平成26年8月20日に起こった土砂災害です。

平成26年8月は2つの台風の上陸などで、全国的に大雨の降りやすい天気が続き、広島県では8月19日から20日にかけて大雨が降りやすい状況となっていました。広島市では8月20日の未明から大雨が続き、安佐北区三入では1時間に121ミリメートルというこれまでに経験したことのない量の雨が降り、安佐南区や安佐北区の多くの場所で土石流やがけ崩れが起こりました。

これにより、77名の方がなくなり、68名がけがをしました。また、この土砂災害の現場に駆け付けた広島市の消防隊員1名が土石流に巻き込まれて亡くなりました。



緑井八丁目のようす



道路が土砂で埋め尽くされています



行方不明の人がいないか探しています



自衛隊や警察などと協力して活動を行いました



消防団も土砂を取り除く作業などを行いました



県内・県外の消防隊員も応援に駆けつけました

へいせい ねん がつこう う さいがい
平成30年7月豪雨災害

平成30年6月29日9時に日本の南で発生した台風第7号は、7月3日夜、対馬市付近を北北東へ進み、4日3時には萩市の北北西約140キロに達しました。台風は同日15時に日本海中部で温帯低気圧に変わりましたが、この低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、また、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島市では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となりました。

広島市には7月5日9時21分に大雨警報、6日14時05分に土砂災害警戒情報、同日19時40分に大雨とくべつけいほうはっぴよう特別警報が発表されました。

この大雨の影響で、広島市及び広島市が消防事務を行っている安芸郡海田町、熊野町、坂町では多くの場所では土砂災害、河川の氾濫、浸水等が発生しました。



あきく や の ひがしなちようめ ちようす
安芸区矢野東七丁目の様子



あきぐんくまの ちようかわすみ ごちようめ ちようす
安芸郡熊野町川角五丁目の様子



りゅうぼく や がれきが じゅうたく おしよ
流木やがれきが住宅に押し寄せています



ゆくえふめい ひと さが
行方不明の人がいないか探しています



しょうぼうたいいん そうさくかつどう ひなんじよ かつどう
消防団員も捜索活動や避難所で活動しました



けんない けんがい しょうぼうたいいん ひさいち かつどう
県内・県外の消防隊員も被災地で活動しました

ひがし に ほんだいしんさい
東 日本大震災

平成23年3月11日、14時46分ごろに発生した地震は、マグニチュード9.0を記録し、宮城県栗原市で震度7、北海道から九州で震度6から1を観測しました。巨大な津波が発生し、東北地方の太平洋側の地域を中心に大きな被害をもたらしました。

広島市消防局は、3月12日から緊急消防援助隊を派遣し、4月15日までの35日間に合わせて445名を派遣しました。航空部隊も岩手県と福島県へ29日間で合わせて22名を派遣しました。



3月14日 広島県隊が集まっているところです



3月14日 行方不明者を探しています



3月16日 仙台空港鉄道仙台空港駅の様子です



3月17日 雪の中で活動を行っています



3月21日 一つ一つ手作業で行っています



5月3日 転院のため患者を搬送しています

くまもと じ しん
熊本地震

へいせい ねん がつ にち ご じ ぶん にち ご ぜん じ ぶん
平成28年4月14日午後9時26分、そして16日午前1時25分。

くまもとけん はっせい に ど きょだい じ しん くまもとけん おおいたけん けん まんむね こ たてもの ひ がい
熊本県で発生した二度の巨大地震は、熊本県、大分県をはじめとする7県で20万棟を超える建物に被害をもたらしました。

ひろしま し がつ にち にち にちかん あ めい きんきゅうしょうぼうえんじょたい は けん
広島市からは4月14日から21日までの8日間に、合わせて90名を緊急消防援助隊として派遣をしました。



がつ にち
4月15日



がつ にち
4月18日



がつ にち
4月18日



がつ にち
4月18日



がつ にち
4月18日



がつ にち
4月19日

へいせい ねん がつ きゅうしゅうほく ぶ ごう う
平成29年7月 九 州 北部豪雨

へいせい ねん がつ にち 6 にち ていたい ばい う ぜんせん えいきょう きゅうしゅうほく ぶ き ろくてき おおあめ かんそく
平成29年7月5日から6日にかけて停滞した梅雨前線の影響により、九州北部で記録的な大雨を観測しました。この豪雨は、河川の氾濫や土砂崩れなどを引き起こし、福岡県朝倉市や大分県日田市をはじめとする九州北部に大きな被害をもたらしました。

ひろしまけん から はん ぜん きんきゅうしゅうぼうえんじょたい おも ふくおかけんとうほうむらおよ あさくらし かつどう おこな
広島県から派遣された緊急消防援助隊は、主に福岡県東峰村及び朝倉市で活動を行いました。派遣は7月25日まで行われ、広島市からの派遣人数は、20日間で合わせて344名にのぼりました。



がっ にち ふくおかけんとうほうむら
7月7日 福岡県東峰村



がっ にちしゅくえい ち ふくおかけんしゅうぼうがっこう
7月9日 宿营地（福岡県消防学校）



がっ にち ふくおかけんあさくらし はきはやしだちく
7月11日 福岡県朝倉市杷木林田地区



がっ にち あさくらし はきはやしだちく
7月12日 朝倉市杷木林田地区



がっ にち あさくらし はきはやしだちく
7月12日 朝倉市杷木林田地区



がっ にち あさくらし はきはやしだちく
7月16日 朝倉市杷木林田地区